

デンマークにおける高齢者の住まいと地域ケアの取り組み

— 24 時間、高齢者の生活を地域で支え続ける —

1987 年、デンマークは、「終の棲家」としての施設建設をストップし、高齢者が住み慣れた地域で最後まで暮らしていくことができるよう政策を転換しました。

我が国においても、今回の介護保険制度改革で「地域密着型サービス」、「小規模多機能施設」や「居住系サービスの充実」等のサービス体系の見直しが行なわれるとともに、「地域包括支援センター」の設置等による「地域包括ケア体制」の整備が進められることになりました。つまり、最後を施設だけに頼るのではなく、認知症をはじめとする要介護高齢者の生活を地域で支え続ける住まいとケアのあり方が問われるようになったのです。

デンマークで約 20 年前から進められている取り組みと、我が国の目指している方向性には近似するものがあります。そこで、今回、デンマークで脱施設を可能にした「住まい」と認知症をはじめとする高齢者の生活を 24 時間支える統合的な地域ケアの取り組みの現状と課題を視察します。

視察のポイント

高齢者が地域で住み続けることを可能にするために、自治体がどのようなシステムで取り組んでいるのか、行政等関係者の講義とケア現場の視察を組み合わせ、自治体における取り組みを総合的に学ぶ視察研修を行います

- デンマークにおける高齢者の「住まい」
- 脱施設を可能にした 24 時間在宅ケアの取り組み
- デンマーク流の小規模多機能施設「ヴィダゴー」の取り組みの現状
- デンマークにおける特別養護老人ホーム「プライエム」の現状と今後
- 認知症高齢者の自立と生活を支える地域のケア体制



今回で 13 回目となる「“エイジレス社会” 海外福祉事情調査・研修」は、介護関連サービス等を提供されている事業者や関係機関・団体の職員の皆様を対象として実施するものです。

毎回テーマに基づき行政機関やサービス提供機関、施設、団体を実地に調査・研修する特別企画となっております。

海外での最新の事例や情報を収集し、体験する絶好の機会かと存じます。皆様方の積極的なご参加を心よりお待ちしております。

第13回“エイジレス社会”海外福祉事情調査・研修 日程表

日次	月日(曜)	地名	現地時刻	交通機関	スケジュール <宿泊地>	食事
1	11月15日 (水)	関西国際空港 (アムステルダム着) (アムステルダム発) コペンハーゲン 着	発 11:50 16:10 17:55 着 19:20	KL-868 KL-1133 専用車	空路、コペンハーゲンへ(アムステルダム乗継) 到着、入国手続き後、ホテルへ <オーデンセ泊>	朝：× 昼：機内 夕：×
2	11月16日 (木)	オーデンセ 滞	終日	専用車	<u>スウェンボー市</u> (予定) 認知症ケアに関するレクチャーと 認知症対象介護付住宅、地域ケアの視察 等 <オーデンセ泊>	朝：○ 昼：○ 夕：○
3	11月17日 (金)	オーデンセ 滞	終日	専用車	<u>オーデンセ市</u> (予定) 自治体における高齢者のケア・システム 高齢者住宅、24時間在宅ケアの視察 等 <オーデンセ泊>	朝：○ 昼：○ 夕：×
4	11月18日 (土)	オーデンセ 発 コペンハーゲン 着	午前 午後 夕刻	専用車	オーデンセ市内視察 陸路、コペンハーゲンへ <コペンハーゲン泊>	朝：○ 昼：× 夕：○
5	11月19日 (日)	コペンハーゲン 滞	午前 午後	専用車	コペンハーゲン市内視察 自由視察 <コペンハーゲン泊>	朝：○ 昼：× 夕：×
6	11月20日 (月)	コペンハーゲン 滞	終日	専用車	<u>コペンハーゲン近郊</u> (予定) 小規模多機能施設「ヴィダゴー」の視察 等 <コペンハーゲン泊>	朝：○ 昼：○ 夕：○
7	11月21日 (火)	コペンハーゲン 発 (アムステルダム着) (アムステルダム発)	午前 12:15 13:40 15:15	専用車 KL-1128 KL-867	専用車にて空港へ 空路、帰国の途へ(アムステルダム乗継)	朝：○ 昼：× 夕：機内
8	11月22日 (水)	関西国際空港 着	10:20		到着、入国手続き後、解散	朝：機内

☆ 研修受け入れ先の都合により視察先等が変更になる場合がありますので予めご了承下さい。

お申込・お問い合わせ先